

27 肺年齢検査や 5. 相談で禁煙支援

成倉吉で啓発イベント

「世界禁煙デー」(31日)を前に26日、倉吉市山根のパープルタウン広場で、たばこの害について啓発するイベントが開かれた。禁煙支援やパネル、ポスター展示のコーナーが設けられ、医師らが喫煙者の禁煙相談に応じたほか、受動喫煙防止を啓発した。

肺年齢などをチェックする来場者 26日、倉吉市山根のパープルタウン



鳥取県中部医師会、
県中部歯科医師会、
薬剤師会中部支部、
県中部総合事務所が主催
して実施。ことしは特

に県内の女性喫煙率が
全国平均より高いこと
から「卒煙で目指せ女
子力アップ」をテーマ
に掲げた。

禁煙支援コーナーで
は、呼気中の一酸化炭
素濃度の測定や肺年
齢、ニコチン依存度の
チェックなどがあり、
喫煙者らが体験。医師
や薬剤師に相談した
り、禁煙指導を受けた
りした。

喫煙歴11年という琴
浦町内の男性(31)は

「なかなか辞められな
い。きょうはいいきつ
かけになった。禁煙宣
言して帰ります」と禁
煙を前向きに考えてい
た。

喫煙者の相談に応じ
ていた「くらし喫煙
問題研究会」代表世話
人の松田隆医師は「禁
煙への認識は高まって
いるが、20〜30代女性
の喫煙率が高い。失敗
しても構わない。とに
かく禁煙に挑戦してほ
しい」と話していた。